

剣道防具を
買う前に読む本!

★「こんなはずじゃなかった…」ではもう遅い!

なぜ 剣道防具を 通販で買くと 失敗してしまうのか?

防具カタログをたくさん集めただけで本当に大丈夫ですか??

— 実際にあった**失敗例**を多数掲載! 読むだけでも勉強になります。—

う が ゆういちろう
宇賀 雄一郎 著

心から満足できる剣道防具を手に入れた人・・

痛くて使い物にならない防具を買ってしまった人・・

その違いは、たったコレだけの事でした!!

1

実際にあった
失敗例を知る。



2

その**原因**と
対処法を学ぶ。



3

**理想の
剣道防具**を
手に入れる。

はじめに

私は今、プロの武道具店主ですが、過去に剣道防具の購入に失敗したことがあります。恥ずかしながら告白させてください。

当時どんな防具を私が買ったかというと、

- ・ 1. 0分本手刺 面金：チタン 甲手：頭総紺鹿革2段飾、2段生子
胴60本漆塗、うぐいす金茶亀甲 垂：8段飾

これだけを聞くとなかなか良さそうな防具だと思いませんか？
実際その通り、確かに良い防具だったのです。

ところで何を失敗したかですって？

サイズを極端に測り間違えたのです。

いくら武道具店を開業する前のずいぶん昔の話だとしてもひどい話です。

「痛たたたた・・・痛い・・・。」私の場合、サイズの合わない防具はとにかく苦痛以外何者でもありませんでした。面は極端に小さすぎて、まず頭が入らない。あごを無理やり押し込めても額が面の内輪の天にまったく届かない。後頭部が面布団から飛び出している状態で使っていたのですが、こめかみの辺りがだんだん痛くなり10分以上は痛くて使えません。使用後にはこめかみと顎がすれて真っ赤になってしまふのです。こんな防具で剣道が上達するはずがない、と私は思いました。

高いお金を払ったにも関わらず、見るのも嫌なくらいです、早く忘れたい・・・

甲手は逆に大きすぎてぶかぶか、周りの方と比べて明らかにふた周りくらいは大

きいとパット見で分かります。いくら甲手紐をきつくしても、甲手頭が大きいのでどうしようもありません。竹刀を握っても内部で余ってしまい力が全く入りません。

そんな防具に愛着を感じるはずもなく私は使うに使えない防具を目の前にただただ寂しい情けない思いをした事があるのです。

だからこそ私は言います。

防具を買うのは、正しい知識を得てからにしてください。

泣くに泣けない思いをした私でしたが、この小冊子を手にとったあなたは防具の購入で失敗することはもうありません。そればかりか購入する防具によっては5万円から10万円以上の得をすることでしょう。

え、信じられない？お気持ちはわかります。

しかし、わずかな知識を持っているだけで防具を購入する際に得をしている人たちがいるのは確かなことなのです。これはあまり聞かない話だと思います。当然です。みんなが知らないからこそ、一部の人たちが得をしているのです。

どんな知識を得れば、確実にワンランク上の防具を手にすることが出来るのか。購入した防具を心底気に入って練習に励むことが出来るようになるのか。あなたが防具選びでなくてもよい損をしないように、この小冊子では今まで防具業界のタブーとして明かされなかった秘密をお伝えします。

その前に！

この小冊子は、読んで欲しい人と読んで欲しくない人が決まっています。お互い貴重な時間をムダにはしたくありませんからね。

□こんな人こそ読んでください

- ①カタログだけを見て剣道防具を買うことが不安な人
 - ②周りの人よりもワンランク上の防具が欲しい人
 - ③たとえ新しい防具を買っても、古い防具も大切にする人
 - ④体にちゃんと合った防具で快適に稽古に励みたい人
- 口逆にこんな人は読まないでください。



- ①馴染みの武道具店で購入しないとどうしても気がすまない人
- ②広範囲に及ぶ鮫皮の使用や虎、竜などの豪華絢爛な刺繍など豪華な装飾を防具にお望みの人や刺しのひとつひとつにまでこだわりたい人。
- ③子供の学資保険を解約してまで自分の防具を買おうとしている人
- ④防具を買っただけで満足してしまい稽古に励む気のない人

さあ、それでは理想の防具探しの旅へ出発しましょう。
用意はいいですか？

第1章 お金をドブに捨てないために

早速お話を始めたいのですが、中には私を疑っている人がいるかも知れません（笑）。

「そんなうまい事言って、所詮あなたも武道具店なんだから、自分に都合の良い事しか言わないでしょ!」

なるほど、確かに・・・

私が同じ立場なら、やはりそう思います（笑）。

私がこの小冊子を書いた理由は、そうですね・・・

私は四国の片田舎で小さな武道具店を営んでおりますが、世の中大変便利になりました。

私のお店にはホームページがあるのですが、毎日全国からたくさんのお問い合わせやご相談をいただきます。

剣道防具の専門店とは言うものの、誰も知らない地方の小さなお店なのです、それでも最近では本当にビックリするくらい沢山お問い合わせをいただくようになりました。

中には販売している防具の仕様や価格に関する質問もありますが、とにかく一番多いのは防具の選び方、そしてサイズのあわせ方についてです。

そんなご質問に対しては私、店長の宇賀が出来るだけ直接お答えしてきましたが、ある日、ふと気がついたのです。

剣道防具は高価な買い物にも関わらず、どうも多くのお客様は購入前に

防具選びの正しい選択基準を持っていない様だと。

それを教えるのが店主の役目？

まあそれもそうかもしれませんが。

しかし剣道防具は、一生モノです。だからこそ、お店に問い合わせをする前に、しっかりした選択基準はご自身で持っていた方が良いはずですよ。

事実、あなたも「どのカタログを見ても同じに見える」と感じたり、「近所の武道具店から買おうかな？でも安いのは通販だし・・・」と悩んでいるはずですよ。

そんなお客様へお伝えしてきた私のアドバイスをまとめたものがこのガイドブッ

クです。この先、誰かのお役に立てるのなら、喜んでご提供していきたいと思っています。

ただし、もしあなたが「とにかく1円でも安く手に入れば、防具の質は関係ない」と考えているのなら……。残念ながらこのその場合は、どうか、この小冊子を今すぐここで閉じて下さい……

良かった・・・ページをめくってもらえて、少しホッとしました。

と言うのも、あなたはまだ、大切な事を知りません。それを知らずに情報を集めても、防具選んで失敗してしまうかもしれません。

ために、次のように想像してください。

たった今、あなたの剣道防具が仕上がりました。手元には武道具店からの請求書、開封し、金額を確認しました。間もなくあなたの財布からはたくさんのお金が出て行くことになります。

そこであなたに質問です。

「その剣道防具は、支払うお金の価値に見合っているでしょうか？そしてそれをどう判断したら良いのでしょうか？」

しかし、出来上がってしまった後で価値を評価してもそれでは意味がありません。お金を支払った後で「失敗しました」では遅すぎるのです。

重要なのは「事前」に違いを知り、「納得」してから防具を注文することです。比較検討している武道具店や防具の違いを事前に正しく評価出来てこそ、理想の剣道防具を手に入れることが出来るのではないのでしょうか？
くどいようですがもう一度繰り返します。

事前に「選択基準」を知ることが一番肝心です。

知らないから不安を感じます。分からないから、どこかで妥協することになるのです。

事実、選択基準を持たなかったために、**つらい**思いをした人がいます。

次は、そんな少し悲しい実例を見てみましょう。

第二章 誰だってまさか自分に災難が降りかかるとは思っていません

「まさか、私がこんな目に合うなんて・・・」

「だから通販で買うのだけは止めればよかったんだ。」

これは防具選びで失敗した人の決まり文句です。サイズが合わない、届いた防具がイメージと異なっていた・・・お客様の目からは、大粒の涙が溢れ出しそうになります。

■防具選びの失敗例 その①

先日、県外よりあるお客様がいらっしゃいました。一目見て高段者の先生だと気づきましたが、娘さんを連れて当店のある香川県へ「讃岐うどん屋めぐり」のついでに寄られたそうです。購入されてから20年くらい使用している防具を拝見して、その風合いに良い防具は本当に長く使えていいなと私が感心していたところ・・・

お客様：「実は、この大切にしてきた面なのですが・・・」

私：「どうしましたか？立派な面ですが？」

お客様：「サイズが合っていないんです・・・」

私：「！！！！」

お客様：「20年間ずっと…」

私：「……………」

実際に面をかぶっていたいたのですが、なるほどサイズがあっていません。物見にいたってはひとつ上の隙間から見ていて、アゴを深く引いてしまう悪いクセがついている事に自身でも気がついているようでした。

20年間ずっと稽古のたびに頭が痛いそうなのですが、高価な防具なので我慢して使われていたそうです・・・一度これではダメだと思い、面の仕立て直し修理を依頼したそうですが、思ったようには直らなかったそうです。購入時に、サイズを自分で測ったことをとにかく後悔したと話されていました。

■防具選びの失敗例 その②

「ピロピロピロ〜!」

とある県の県警の方よりお電話をいただきました。

「あっ店長、お伺いしたいのですが、今防具を3組持っているのですがどうも最後
に買った防具はサイズがあっていないようなのです。もちろん購入時には武道具店
さんに身体のサイズを測ってもらいました。

サイズがおかしいと購入した武道具店に言ったんですが、「汗を吸うと内輪は広がるからもう少し待ってみてください。」の一点張り、もう購入してから10年くらい経つのですがどうなのでしょう?高校の時に同じ武道具店さんで購入したひとつめの防具は全然そんな事はないんですよ、ピッタリなんです。だからおかしいなと思ってるんです。そこの店長さんって絶対に間違えたって認めないんですよ。これっ

て普通ですか？」

ご安心ください、明らかにサイズを間違えています（笑）。

馴染みの武道具店さんだからこそ逆に言いにくいこともあります。防具なんてそう買い換えるものじゃないのでどれが正しいのかどれが間違っているのかわからない。でも正しいサイズの面はかぶった瞬間にすっと頭が面に納まりますからすぐに分かるものですよ。

■防具選びの失敗例 その③

その方は剣道仲間と一緒にある有名店の通販で防具を買ったそうです。届いた面をかぶった瞬間、嫌な予感がしたとの事。

「ま、まったく頭が入らない・・・」
すぐに受話器を取ってお店に電話したそうです。

「どうしてくれるんだ！サイズが合わないじゃないか！」
と連絡したそうですが、

「ネームを入れてしまっているので交換できません。ウチはお客様からいただいた
サイズで正しい防具をお届けしました」との事。

何とも悔しい思いから、泣く泣く面を仕立て直して欲しいと頼んでみましたが、

「仕立て直しには別途費用がかかります。」という言葉が返ってきたそうです。
ここで驚いてはいけません。この方のお話が凄いのは「コ」からです。

「一体どうしよう・・・」と一緒に防具を買った知人に連絡したところ、

「実は俺もや・・・サイズが合わない。今お前に電話しようとしてたところや。」
なんと二人揃ってサイズが合わないということです！最後の極めつけは

「じゃあ、お前の面と俺の面、交換してみようか？」

と持ちかけたところ**何とお互いピッター！**

何事も無かったかのように今では防具を使っていますが、本当に危ないところでした。（しつこいようですが実話ですよー）

いかがですか？このように剣道防具を買ったときにサイズの間違いというのは本当によくある事なのです（特に通信販売において）。

「もう止めてください！こんなに失敗例を聞いていたら私まで防具選びに失敗しそうですよ！」

いいえ、まだまだです（笑）。

私は心を鬼にして防具選びの失敗例をあなたにお伝えします。なぜなら、防具選びに失敗しないためには、

あなたが自身が防具選びの失敗例を知っておく事が不可欠だからです。

他人の不幸は蜜の味、という訳では決してありませんが、例えば、道を歩いていて、水溜りの場所があらかじめ分かっていたら、簡単に避けて通ることが出来るのと同じことです。

■防具選びの失敗例 その④

当店のホームページを見て高校生の女の子がご家族でご来店されました。今使っている手刺防具は高校入学時に皆で揃えたものだけど、サイズが大きいとの事。お持ちいただいたいたので拝見させてもらうと・・・

かぶるまでもなく、パツと見で大きすぎる防具だという事が分かりました。面の内部に面パッドを上、下両方に付けています。まあサイズはこれで良いとしても、物見が一段ずれています。新しい防具をお店で合わせてみましたが、「視界が広い！」と喜んでました。

■防具選びの失敗例 その⑤

今度は高校生の男の子。中学の時より、お父さんが昔使っていた防具を借りて使っていたのでそろそろ自分の防具が欲しいということでした。実はこの方、数日前に通販でミシン刺し防具を一式買ったばかりでした。しかし面が合わない。こんな事もあるのかと返品可能なお店で購入していたようですが、どうも納得いきません。ご来店いただいたので頭のサイズを測って見ると・・・

私「うーん68センチですね。」

お客様「そうですか！じゃあやっぱり私の計測で合っていたんだ！」

お父さんのサイズの測り方には問題はありませんでした。にもかかわらず、なぜか届いた防具が合わない・・・いろいろ話し合った結果、違うサイズの面が送られてきたという結論になりました。本当にこんな事があるんですね。

念願だった剣道防具が仕上がった。早く稽古で使ってみたい！そんな矢先の出来事です。これではいくら良い防具でも心から喜べそうにありません・・・

確かに、このような、失敗ばかりが起きている訳ではありません。しかし、失敗するからには何かを間違ってしまった事は確かです。

それは一体、何だったのでしょうか？

第3章 あらためまして、こんにちは。

話の途中ですが、自己紹介を。

四国で武道員屋を営んでおります宇賀（ウガ）と申します。

■子供の頃は

小学1年生の頃から父に連れられ剣道の道場へ。冬の寒さがとにかく嫌で、見たいテレビ番組も見られないし、仮病を使って休んだりもしました。

そんな私が唯一楽しみだったのが剣道の夏合宿。広い道場に蚊帳を張って仲間と寝たり、夜はバーベキューや花火をしたりとにかく人とワイワイやるのが好きでした。



幼少の頃の私（写真中央）

高校時代にはインターハイ制覇！大学時代に全国大会で団体優勝！現在は県警の機動隊に所属！といった輝かしい経歴はひとつもありません（少しびっくりしました？）。

現在五段。今でも稽古の度に悩み苦しんでいます。最近の課題は手の内です。

そんな私が、まさか武道具店の店長になるとは・・・

■ところで私の住む香川県の人は全員、

「自分が一番、讃岐うどんに詳しい」

と思っているんですよ。（そんなものですから全国的な讃岐うどんブームの時は全員があーだ、こーだと大変でした）本当です。こんな県民は他にはいないと思います。

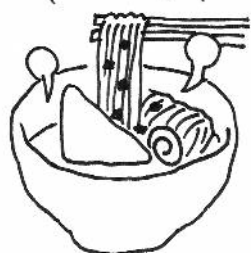
私の妻は横浜生まれですが、今では私よりうどんを食べています。みんなうどんが大好き。一日一食は当たり前、クリスマスだってお正月だって「讃岐うどん」です。

もちろん私にもとっておきのうどん店があります。

店内撮影禁止、商売っ気はゼロ。しかし、その方を作るうどんはまさに本物。ツルツル、シコシコ。うどんの麺が喜びのあまり笑っています。

あつ、すいません、今日は剣道防具のお話でしたね！

うどんきぬ



是非一度
食べたいですね！

■私が武道具店を開業した理由。

話はずいぶん前にさかのぼります、これも本当にあつた話・・・

私の父は剣道教士七段、地元の道場で他の剣道仲間と子供たちに剣道を教えていました。私も幼少の頃から父に連れられて近所の剣道の道場に通うようになっていました。これはそんな父の話です・・・

ある晴れた日の朝、父は自宅の駐車場に止めてあつた車がないことに気がつきました。

「おい！ 車がないぞ！」

家族は誰も車を使っていません。車が盗まれたという事実気がつくまでにその時間はかかりませんでした。すぐに警察へ連絡したのですが、一番困ったことはその

盗まれた車のトランクに、長年使用してきた大切な、大切な防具が入っていた事。大好きな稽古にいくことが出来ません。仕方なく古い防具を押入れから取り出し、埃を払い、稽古に通いました。

約2カ月後、警察から突然の1本の電話。

「宇賀さん！喜んでください。**犯人が捕まりました！**今すぐ警察にきてください！」

犯人にたいする怒りは収まりませんが、とにかく少しだけホッとしたのを覚えていきます。

しかし、世の中そう甘くはなかったのです・・・

車は発見されたのですが、肝心の防具がどこにも見当たりません。

「何かおかしい……」父は青ざめました。

犯人の若い男に防具はどこへやったのだと父は問い詰めよったところ、犯人の口から平然と想像を絶する一言がでたのです。

「邪魔だったので海に捨てた。」

耳を疑う一言。

こんなことが現実にあって良いのでしょうか？

犯人の顔に反省の色は全くありません。剣道家にとって命の次に大切にしている長年の思い入れの詰まった防具が無残にも意味も無くただ邪魔だったという理由で海に捨てられてたのです。父の顔は傍目にも怒りで真っ赤になっていました。目には涙が浮かんでいました。私も心の底から怒りが込みあげてきました。しかし防具は

二度と戻ってきません。思い出も文字通り海の底に沈んでしまいました。被害総額150万円、もどってきたお金はたったの60万円・・・（なぜかって、犯人がどうも知人の息子さん（！）だったからです・・・）

その後、車と防具を弁償してもらうとき、私の武道具店に対する意識が180度変わったのです。父は、剣道雑誌を見てカタログを数社から取り寄せ、あれにしようか、これにしようかとまるで子供のように真剣そのものでした。そんな父を私は初めて見て嬉しく思いました。「ああ、良かった。これで何もかも元通りになる・・・」

そう、大切なものはお金では買えませんでした。 そんな父の姿を見て、そんな人を幸せにする防具を販売する武道具店は幸せだなと素直に思いました。そして、いつしか防具を販売することが私の使命だと感じるようになったのです。

私は今、そんな想いがたくさんつまった武道具店を経営しています。

■こんな思いで開店したもの…

しばらくは鳴かず飛ばすのどこにでもある普通の武道具店だったと自分でも思います。ホームページも見よう見まねで作って見ましたが、とにかく全く売れませんでした。ネット通販の売上0の月が半年くらい続きました。このままでは家族が食べられないので、私の父が営む仕出し屋で、吐く息が白い早朝3時から料理盛り付けのアルバイトと並行しながら試行錯誤していました。

お金がなかったのでホームページは全て手作り、防具の写真も全て自分で撮影していました。8回目のホームページの改定にかかっていた頃（もう疲れ果ててました）、ようやく当店のホームページからはじめて防具が売れたのです。

「やった〜!」

文字通り、妻と手を取り合って喜びました!妻は確かお祝いのケーキを買ってきてくれました。何度もお客様とお電話でお話をし、丁寧のひとつひとつ防具を梱包し、

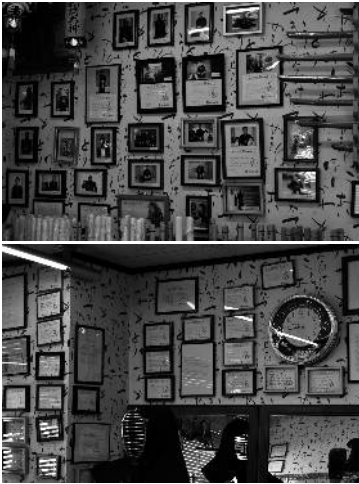
「割物注意」「天地無用」のシールを必要以上にたくさん貼ってお送りした日を今でも鮮明に覚えています。

月日が経ち、今ではホームページを通じて全国から沢山、防具のご注文をいただくようになりました。防具を買っていただいただけでなく、お客様の方から笑顔の写真やお手紙、野菜、ジャム、フルーツ。いろいろ送ってくださいます！

今は毎日、ホームページを通じて防具を販売することが

楽しくて仕方ありません！

(すごい！天職って本当にあるんですね♪)



↑ 店内には全国のお客様からいただいたお手紙やお便りがたくさん飾られています！

第四章 一体、何がどう間違っていたのか？

それでは話を元に戻しましょう。

あなたはどのようにして防具を選ぼうとしていますか？

「えっ、私は防具のカatalogをいくつか取り寄せ、
その中から良さそうなものを選ぶつもりです」

はい、失格。「ブーッ！」言ってる側から落としか穴に
落ちてしまいました。

「えっ？私？」

そう、あなたです。



「な、なぜ？」

剣道防具をカタログだけを見て選ばうとしたからです。

おそらくほとんどの方が、そうだと思います。防具を購入する機会なんてそうそうあるものではありませんので「防具の知識」「どう選んだらいいか？」といった「防具選びの基準」は、意外と難しいものです。事実、ほとんどの方が「予算に合う」「カタログ写真がきれい」といった理由が中心で、「実際に使うときのこと」を考えずに選ばれていることが多いようです。その結果、以下のような残念な思いをしてしまうことも・・・

「サイズが合わず、痛くてまるで使い物にならない」

「カタログ写真と実物が全然違う」

「セール品買ってしまった、安物買いの銭失いになってしまった」

このような失敗の大きな原因はこれからお話する2つの事です。

■失敗した原因① 防具カタログを過信してしまった。

事実、ほとんどの人が手刺し防具を買う時に、以下のパターンに陥ります。

1. 近くの武道具店へ出向き、防具のカタログをもらってくる
2. ホームページ、剣道雑誌を見ていくつかカタログを取り寄せる
3. それらのカタログを並べて、その中から良さそうな防具を選ぶ

そして多くの人がこう思うのです。

「よし、たくさんカタログを集めたぞ！この中から選べば必ず良い防具が買えるに違いない！」

それでも多くの方が防具選びに失敗しています・・・

確かに防具カタログは分かりやすく大変便利です。しかし、そのカタログこそが多くの防具選びの失敗を生んでいる事実には多くのの方は気がついていません。

豪華なカタログはいい武道具店の証ですか？

防具選びは大変難しいものです。ひとつのカタログを見ただけでは防具の良し悪しは分かりません。だからお客さんも身構えて購入前に沢山カタログを集めて、比較し自分でいろんな情報を得るようになりました。そのことを知っている武道具店は、とにかく他店より「立派なカタログ」を作るようになりました。

「どうですか！うちのカタログ、凄いでしょ！分厚いでしょ！」

「どうですか！うちのカタログ、写真が凄く綺麗でしょ！」

「どうですか！うちのカタログ、とにかくお金かけてます！」

立派なカタログはお金をかけている証拠。小さな武道具店には逆立ちしたって真似

できません。腕のいいプロカメラマンが撮影する「写真」は間違いなく一級品です。そして多くのお客さんがこう思います。

「うん、立派なカタログだ。この武道具店はなかなかいいぞ！」

カタログが素晴らしいのはいいことです。感心するのも個人の自由です。実物を見ることなく、豪華なカタログを見ただけで欲しくなってしまう・・・そう多くのお客さんが錯覚してしまうのも無理はありません。でも・・・まだ肝心の防具をその目で見ていません・・・本当のところは、

「防具の仕上がり ≠ カatalogの豪華さ」です。

必ずしも防具の出来とカタログの豪華さはイコールではありません。逆にカタログがお粗末でも良い防具を販売されている武道具店さんは沢山あります。このことを知っておくだけであなたはカタログに惑わされずに、本当に良い防具をその目で探そうとするはずで

■失敗した原因② サイズ測定をいい加減にしてしまった。

実は、通販などで自分で自分のサイズを測ることは極めて危険な事なのです。私自身もホームページを通じて全国へ防具の通信販売を行っていますので、自分自分の首を絞めるような事を言うようですが本当のことです。

だからと言って店舗で測定してもらいさえすれば問題ないのでしょうか？

武道具店の店員さんはサイズ測定のプロです。何人も計測していますのでそれは正しくはかる事ができるでしょう。しかし、ここにも大きな落とし穴があります。それは

「人の頭の形は皆違う。」ということです。

後頭部が出ている人がいれば私のように絶壁な人もいます。アゴが出ている人がい

れば丸顔でほっぺの大きな人ももちろんいます。いくらメジャーで測った寸法が同じだからと言って、同じ面が入るとは限らないのです。

余談になりますが、ここに2009年8月29日付の日経新聞の記事があります。ネット通販で買い物をした際に一番不満が多い商品を調査したのですが何か想像つきますか？

実は「靴」なのだそうです。

足はいくらサイズが同じでも、幅広の人もいれば甲高の人、ほっそりした人さまざまです。いくらサイズが正しくても靴だけは履いてみないと分からないということ人も多いでしょう。

靴でさえそうなのですから、より複雑で物見を合わせる必要がある面になればなおさらです。自分で測ろうが、店員さんに測って貰おうが、メジャーだけで測る事自

体がすでにサイズが合わない危険性をはらんでいるのです。こんな事を言ってしまうと通販自体が成り立たなくなってしまうので誰も大きな声では言いませんが、私は本当の事だと思っています。そして、防具のサイズが合わない原因の多くがメジャーでの測り間違いに起因すると考えています。

サイズの測り方、特に面に対する対処方法は第5章でお話しますのご安心を。

ネット通販に不満ある？



靴で4割、服飾品に多く

不満と答えた人の理由では、ネット通販の宿命として「商品を手にとる確認できない」が最多。「実際に着てみないと自分には合うかどうか分からないから、ネットでは買わない」(20代男性)という人もいた。

自宅にいながら様々な商品が買えるインターネット通販について、日経生活モニターに聞いた(8月中旬実施、有効回答数2482)。利用経験がある人に総合的な評価を尋ねると「非常に満足」「満足」が合わせて87%だった。ただ、商品別に聞くと「やや不満」「非常に不満」の両もなく、靴(41%)やアクセサリー(29%)など身に着けるもので目立った。

第五章 それでも良い防具を安く買いたいなら 通販だと決める

これまでいろいろ通販による失敗例をお話してきましたが、私は別に通販を否定している訳ではありません。**むしろ高品質な剣道防具を安く手に入れるには通販しかないと考えています。**

しかし通販となるとどうしても「安かろう悪かろう」というイメージが付いてまわります。

しかし、これは単なる「**誤解**」でしかありません。

少し考えてみれば当然なのですが、実は通販を行っている武道具店のほとんどが、**店舗も併設**しています。

もちろん店頭で防具を買われる方は、防具実物を確かめて納得してから購入している訳で、その際に品質に問題があるとはあまり考えられません。店舗で販売する防具と通販で販売する防具は基本的には同じ防具でしょうから当然です。

「通販だから防具のレベルを下げて販売してやろう」ということもまず考えられません。

つまり、通販を行っているお店は通販を通じて全国の多くのお客様に喜んでもらうと日々、良い防具を安く販売しようとする経営そのものに対して真剣であるとも言えるのです。価格が明瞭なものも大切なポイントです。

通販で防具を買うときの問題は「通販だから防具の品質が心配だ」ということよりも、むしろ「サイズを自分で測ることによる失敗」にあるでしょう。

そしてそのサイズ間違いへの一番の対処方法とは。

「購入前に必ず、いくつか面をかぶる」と

なのです。

「・・・えっ、それだけ？」

という声が聞こえてきそうですが、たったそれだけの事です。

剣道防具は大変高価な買い物にも関わらず、購入前に防具を身体に合わせることをしない人が大変多いのは残念です。近所の武道具店でさえサイズを合わせる面を



置いていないこともしばしば・・・その結果、メジャーでは正しく測ったと思ったのに仕上がった面がどうもサイズが合わないという悲しい結果になるのです。

実は購入前に面をかぶってみることは2つの大きな意味があります。

①自分の頭のサイズを簡単に測れること

メジャーで身体のサイズを測るのは慣れた人でも難しいもの。
かぶるだけで誰にでも正しいサイズが分かります。

そしてもう一方のより大切な意味は・・・

②実際の仕上りサイズを事前に確認できること

いくら正しく事前にサイズを測ったとしてもそのサイズで作られた防具が必ずしもピッタリ身体に合うとは限りません。メジャーで測ったら68センチだった人は本当に68センチの面でピッタリ合うのか？頭の形によって差はないのか？もちろん合わない人もいます。基本的にやり直しのきかないオーダーメイドの手刺防具を買うなら必ず面だけはかぶることをオススメします。購入前に仕上がり寸法の面をかぶってみるによりサイズ間違いはほとんどなくなります。

以上のことから、防具を購入するベストな方法は通販を行っている武道具店へ行くことです。実物を手に取ればイメージ通りの商品が手に入るし、店頭にある面もかぶることが出来るでしょう。かぶってみれば驚くほど簡単に、小学生にでも正しいサイズが分かりますからサイズ間違いも驚くほどなくなるはずです。（当店にも福島、福井、金沢、石川、東京、大阪、名古屋、兵庫、岡山、福岡、など遠方からお越し

いただく事が多くなりました。それほど皆さん防具選びに真剣な証拠です)

通販の場合は、見本防具やサイズ測定用面を貸出してもらえよう頼み込んでください。電話口で無理だと言われたら、直接店長さんをお願いして(店長権限でもって)「大切に扱いますし、送料は自分で負担しますから!」とサイズの異なる面をいくつか貸出を希望してみてはいかがでしょう?自分でサイズを測定する不安を考えると、実際の面に頭をかぶってみる事ができるならそのくらの出費は決して高くないと思います。(当店では遠方のお客さま用にサイズ測定用面の貸出サービスがあります)

いくら返品や交換保証があるからといって自分でメジャーでサイズを測っていきなり注文!ということだけは間違っても止めてください。

第六章 良い武道具店の本当の見抜き方教えます。

いよいよこの小冊子も最終章。

ここで少しだけこれまでの話を整理してみましよう。

はじめに私達は「防具選びの失敗例」を確認しました。そこで知ったことは失敗した人たちは、正しい防具選びの選択基準を持っていなかったという事でした。

そして間違いのもととは、スタート時点にあった事。カタログ写真だけを鵜呑みにして防具を選んでみたり、サイズの測定をいい加減に行うことがいかに危険な事か。

さらに、防具自体が粗悪品だったという失敗例よりも、サイズが合わない、思っ

ていた防具と違っていたという失敗の方が最近では多いことも学びました。

さて本題に入りますが、この最終章では実際に知識と経験があり、モラルの高い武道具店を見抜く具体的な方法をお教えします。

「正しい防具選び」とは「正しい武道具店選び」に他ならないということ。むしろその1点に集中する方がきっと良い結果を得られます。

まず言えるのは、武道具店にいきなり電話で問い合わせたり、資料を請求したりするのは賢い方法ではありません。是非、次のステップを順に進めてください。

①まず、「こんな剣道防具なら要らない」リストを作ります。

あなたの頭の中を整理する作業からスタートします。簡単なことです。

- いくら価格が安くても、ペラペラで打たれて痛いような防具なら要らない。
- 物見が合わない面は要らない。
- すぐに壊れてしまい、頻繁に修理が必要な防具なら要らない。
- 堅くて身体に馴染まず、使いにくい防具なら要らない。
- アフターサポートのない武道具店の防具なら要らない。

などと、「あなたにふさわしくない剣道防具」をリスト化してみてください。

②「理想の剣道防具の条件」を決める

これも簡単です。先の①「こんな剣道防具なら要らない」リストの逆を考えるだけです。いきなり「理想の剣道防具の条件」を考えようとしても、なかなか明確にならない事が多いので先に要らないリストを作って見ました。

- 購入時に少しくらい高くても、しっかりした作りで長く使える防具であること。
- 物見がピタリであること。甲手も大きすぎず小さすぎず使いやすいこと。
- 柔らかくて身体に馴染み、使いやすい防具であること。
- 通販であるうが、店舗であるうがアフターサポートがしっかりしていること。

といった具合です。

③情報収集をはじめ

初めは、剣道雑誌やインターネット、手元にあるカタログなどを見てください。ただし、まだ武道具店さんには接触しないでください。

④気になる武道具店さんの『一番のウリ』が何か確認してください。

一口に武道具店といってもそれぞれ専門があります。柔道や空用手用具まで幅広く扱うスポーツ店タイプの武道具店だったり、店長が剣道具職人だったり様々です。

- 「当店は手刺防具の専門店だ」
- 「小学生用の防具をたくさん販売しています」
- 「地元の中学、高校の授業用に防具を納めています」

●「当店の防具は高段者の先生に愛用されています」

欲しい防具が明確であるなら、その防具の専門店から買うことをオススメします。専門以外のお店から購入することは、例えば歯が痛いのに、眼科へ診察に行くようなもだからです。専門店というからにはたくさん販売しているでしょうし、その防具に関して専門の知識をもつ店員さんが必ずいるからです。

⑤いよいよ接触開始。良い武道具店と悪い武道具店を見極めます

絞り込んだ武道具店に、カタログや資料の請求をしてみましよう。

良い武道具店は、資料を心待ちにしているあなたのために、素早く送付手続きを取ります。中には速達で送ってくる武道具店もあります。メールで何かしら質問した時には当たり前のように同日中に返信が戻ってきます。中には1時間程度で必ずメールの返信があるお店もあるようです。

一方、できの悪い武道具店は**何かにつけ対応が遅い**ものです。資料は忘れた頃に届きます。何より、届いた資料そのものに誠意が感じられず、片付け仕事のようです。あなたが資料を受け取って「気持ちが良い」と感じた武道具店を選びましょう。ただし、本当の見極めはこれからです。

⑥意識の高い武道具店は「正しい質問」で見極める

一口に武道具店といっても、いろいろあります。地元密着で子供達から愛される武道具店もあれば、全国に通信販売で沢山防具を販売しているところもあります。

意識の高い武道具店さんとはとにかく店員さんがイキイキしています！元気がいい！お客さんまで元気がいい！出来ればそんな親切で活気のある武道具店から良い

防具を買いたいものです。

そんな心から愛せる武道具店を見極めるためにはこれからお話する「正しい質問」を投げかけてみるのが有効です。

では先に、「正しくない質問」「間違った質問」とはどんなものでしょう？

- 「この防具と竹刀をセットにしたいいくらになりますか？」
- 「人気の胸型はどのタイプですか？」
- 「棒刺しとナメ刺しとどちらが良いのですか？」
- 「ネーム刺繍の糸の色はどんなものがありますか？」

これらは実際に良くある質問ではありますが、結論を申し上げますと、良い武道具店を見抜くために投げかけるには間違った質問です。なぜならこれらの質問は「この武道具店から防具を買うべきか？」という事柄とは直接何の関係もないからです。

実際、このように質問してもたいいの武道具店の店員さんは聞かれる内容をほぼ予想しています。もちろん、ライバル店と比較検討される事も承知の上で売りたいと思っています。ですからこれらの質問に関しては「自分達にとって都合の良い答え」をあらかじめ用意しているのです。

それでもあなたは良い武道具店を見抜かなくてはなりません。その場合は、通常武道具店が聞かれることのないような、「**ドキッ!**」とするような質問を投げかけて**相手の反応を見る**ことが極めて効果的です。

●「過去にサイズが合わなかった例はありませんか？」

いきなりこう聞かれてドキッとしないう道具店はないはずです。残念ながら、武道具店を長年経営しているとサイズ間違いのひとつやふたつはあるはずです。人間誰しも悪い事を伝えることには勇気がいります、正直怖いものです。相手がお客様ならなおさらです！

自分が不利になる経験談を、包み隠さず話してくれる武道具店なら信頼できるはずです。しかし、普通に考えれば「いや、特にないですよ」と言うはず。私は性格が悪い（笑）ので、格好つけて良い事ばかりいう人間はあまり信用しません。自分の恥をさらけ出しているくらいの人の方がどんどん好きになります。

●「いじりある20万円と40万円の防具ですが、何が違うのですか？」

このように聞いてみてください。きっと普通の武道具店なら次のように言います。

「どちらも良い防具ですよ！」と。

しかし、お客様のことをちゃんと考えている武道具店はお客様に防具の長所だけでなく短所も余すことなく教えてくれます。だからこそお客様はそれぞれの防具の**長**

所、短所と価格差を総合的に考えて比較検討ができるのです。

良い武道具店は、

「金額分の差としては、まず防具の表面を保護するために纏ってある鹿革のランクが異なります。40万円クラスの防具は「小唐」と言ってキメの細かなしっとりし

た最上級の鹿革を使用しています。

よく高段者の先生方の防具を見るとしつとりとした印象を受けることはありませんが、それはこの鹿革の違いに大きく起因します。20万円クラスは「中唐」という鹿革を使用していますが、それでもクラリーノなど人工の革と比べると遥かに良いです。「中唐」と「小唐」は遠めに見ても違いが分かりますが、実際の使用感は革によって大きく変わるものではありません。あくまで見た目の話です。

安い手刺防具の中には牛革やクラリーノを使用しているものもありますが、買ったときにいくら安くてもすぐに使い物にならなくなりますので避けたほうが無難です・・・」

といった具合にカタログに載っていないことを教えてください。

●「お客様アンケートがあれば見せてください」

これは自信のある武道具店なら聞かれて嬉しいはずです。武道具店の意識が高ければ高いほどお客様の声には敏感です。それは「どうすればお客様に満足してもらえるか？」を常に考え、レベルの向上の努力をしているからに他なりません。良いお店は広告ではなく、口コミや評判、紹介で成り立っています。他のお客さんが「何が決め手」になって防具を買ったかを知るにはお客さまアンケートを見せてもらうが一番です。

●「貴店の防具は確かによさそうですが、他店さんの防具はどうですか？」

「ウチの防具はとにかく最高です！」

「ウチの防具はここが凄い！他店のはダメ！」

武道具店の店員さんは自分の取り扱う防具の話ばかりすると感じたことはありませんか？とにかく自店の防具が一番ですという店員さんは他店の防具を実はあまり知らなかったりするのです。

誠実な武道具店なら他店の防具を聞かれたときに

「確かに他店さんの防具にも素晴らしいものはいくらでもあります。」と本当の事をお客様にお伝えすると思います。

その上で、「しかし、防具というのは防具の仕様や飾りばかりに目が行きがちですが、サイズをあわせる事の方がよほど重要なのです。身体にピッタリあった防具というのはそれだけで軽く感じて動きやすいものですから。」といった話をしてくれるかもしれません。

●「サイズは必ず合いますか？」

「お客様が正しく測ってくれさえすれば大丈夫です！」

という返事がきたら**要注意**です。なぜなら

お客様側でサイズを正しく測る事自体が極めて難しいからです。

「当店にお越しいただければ責任を持って採寸します。」

「サイズ測定用に面をいくつかお送りしましょうか？」

といった対応なら安心ですね。



●「万一、サイズが合わない場合、ネーム刺繍が入っていても交換できますか？」

サイズが合わなかった場合、

- ・新品と交換してもらえるのか、仕立て直しになるのか
- ・仕立て直しの場合には有料なのか、無料なのか
- ・交換の場合はネーム刺繍が入っていても可能なのか

細かく事前に確認しておく必要があります。聞きづらいことだからこそ、はじめに聞いておかないと後から気まずいことになってしまいます。

●「特大寸（特小寸）の場合、追加料金になりますか？隠れた料金はありませんか？」

身体が特別大きい方、小さい方。その為に防具を別注することになると特別費用がかかることがあります。通常10%～20%くらいでしょう。支払い時に困らないよう製作前に確認しておいてください。

（当店は特大サイズの防具でも追加料金はありません）

⑨ 具体的に話を進める上で注意してほしい事

これまで良い武道具店を見抜く正しい質問をお伝えしましたが、これらの質問を投げかけて見て、あなたが納得できた武道具店が合格です。合格した武道具店にだけ防具の細かい仕様の説明を聞いてみましょう。

その際に、少々細かな人間だと印象づけた方が有利です。「少し細かい事を言うようだけど我慢してね」と。あなたがそう一言伝えるだけで、担当者に細心の注意を払う意識が生まれます。

くれぐれも剣道家として「横柄に接する」事とは異なりますので、「」注意を。

⑩ 何店くらいと話をしてみるか？

私も「複数の武道具店に防具の見積もりをとるべき」だと考えます。ただ、そのときに極めて大切なポイントがあります。

複数の見積もりを比較すれば、確かに「見た目の金額差」は分かります。しかし、本当に長い目で見て得か損か？その金額だけを見て判断できる人は少ないはずで

確かに武道具店はお客様に自店の防具を販売したいと思っています。そう考えると「他にもいくつかの武道具店さんに見積もりの依頼をしています」と言うだけで、相対的に価格を下げる効果があるように思えます。

ところが、自信をもっている武道具店は違います。

質の高い武道具店になる程「この防具の価値に見合った内容で価格を決めている」と自信をもっているものです。

仮にあなたが「こっちは客なんだぞ！」と横柄な態度で価格交渉をしても、

「それなら、他の武道具店さんで買ってください」となるはずです。

そもそも少し交渉しただけで簡単に何万円も値引きするようなら「もとの価格の根拠は何？」と疑いたくなります。

安くできるのなら最初からそうすべきなのです。

そして、もう一つ大切な事があります。

価格競争させ、武道具店さんとの交渉に勝ったとしても疑問が残ります……

武道具店は、例え必要以上に価格を下げて販売したとしても、利益を出さなければ潰れます。その為には防具の材料の質を落としたり、手抜きをしたり・・・

もうお分かりだと思います。

無理のある商談内容が、良い結果をもたらす可能性はこの剣道防具の購入に関しては非常に低いのです。単純に、価格だけを比較しても「安物買いの銭失い」になりかねませんのでくれぐれもご注意ください。

良い防具というのは大切にすれば**本当に長い間、ボロボロになるまで使えるもの**ですから・・・

最後に…

待ちに待った剣道防具がやっと届いた。箱を開けてみると真新しい防具特有の燻した鹿革の良い香りが鼻に飛び込んでくる。最高だ！妻はこの匂いがどうしてもダメだと言うが、私には理解できない。

袋から出して一目見て分かった、注文通りどころか、想像していたよりもずっと良い仕上りだ！職人さんの細かい仕事光る。しかも大変申し訳ないのだが近所の武道具店で購入するよりも圧倒的に安かった！

まずは面をかぶってみる。軽い。十年以上使っている私の古い防具とは雲泥の差だ。唯一心配だった物見の位置もピッタリでとにかく視界が広い。面布団はまだ真新しくまっすぐのままだが、これから面紐を取り付けて来週の稽古に備え型をつけておこう。

次は甲手だ。さすがに新品なので古い甲手のようにはいらないが、2、3回稽古すればすぐに馴染む予感がある。甲手に悪い手の内の癖が付かない為には最初が肝心だ。この甲手には意識して正しい竹刀の持ち方を心掛けよう。

胴を身体に当ててみた。竹胴と胴台の緩やかなカーブが少し気になりだしたお腹周り（もう諦めている？）にもフィットする。腕の上下にも邪魔にならずこれなら合格だ。

最近の垂は最初から柔らかいな。でも布団にコシがあって使いやすそうな良い意味での柔らかさだ。ゼッケンも合わせて新調しておいて良かった・・・

**「私の剣道人生において、
長く愛せるパートナーが誕生した瞬間だ！」**

いかがですか？

思い描いた憧れの剣道防具を手に入れたあなたは**きつとこのように喜んで**いるはずです。

さて、私はこの小冊子の中で次の情報提供をしようと考えていました。

- 剣道防具選びの失敗例、それも実例をお伝えすること。
- 多くの人が失敗する、根本的な原因を明らかにすること。
- あなたが抱えている不安や悩みを解決すること。
- 売り手の本音を知り、自己防衛策を学ぶこと。
- 良い武道具店と悪い武道具店を見抜く質問の仕方を覚えること。

そして、あなたと私の結論は「いかに意識の高い武道具店を選ぶか」に行き着きました。私はこの小冊子があなたの役に立つと信じ、選択基準を出来るだけ分かりやすく客観的にお伝えしてきたつもりです。

決して上手な文章ではありませんでしたが、お付き合いいただき、有難うございました。

これから、剣道防具選びをされるあなたにとって「選択基準を事前に身に着ける」事が出来たとすれば、これほど嬉しい事はありません。

安心できる素晴らしい武道具店さんを見つけ、最高の剣道防具を手に入れていただくことを心から願っています。

ファイト！

2010年1月

百秀武道具店店長

宇賀雄一郎

著者について



宇賀 雄一郎（ウガ ユウイチロウ）

米国モンゴメリー大学卒。前職が米国公認会計士という異色の武道具店主。剣道の腕は普通、有名大会での優勝経験もナシ。過去、自分の防具の購入に失敗し、実父の防具が盗難にあった経験がある。だからこそ、お客様の防具選びには真剣で、全国の中段者からの信頼も厚いという。年間のメール相談数は 2,500 件を超え、アメリカ、ドイツをはじめとする海外からも注文を受ける人気店の名物店長。自ら書いた小冊子「なぜ通販で剣道防具を買うと失敗するのか？」は「防具選びの盲点だ！」、「中学生にも読めた！」と好評を得る。過去に自ら防具選びに失敗した経験から、購入前に防具を貸し出す、「手刺防具見本・サイズ測定用の面貸出サービス」を開始。カタログだけを見せて防具を販売する現在の武道具店の販売スタイルのあり方に一石を投じている。

剣道五段 （13年ブランクあり、犬が好き）

百秀武道具店（ひゃくしゅうぶどうぐてん）

〒768-0060

香川県観音寺市観音寺町 2968-13

TEL：0120-74-0823（泣いて喜ぶオヤジさん）

FAX：0120-74-0824

メール：info@tezashibougu.com

<http://www.tezashibougu.com>
